

実現可能な望ましい小学校施設等の姿

～ 小学校施設等の望ましい基本的な整備方針と設計デザイン ～

(素案)

1 新たな小学校施設等の望ましい基本的な整備方針について

【具体的な方針案】

ここでは、新たな小学校施設等の望ましい基本的な整備方針について、箇所別に示すこととする。

- ① 普通教室 … 81 m²×12 室
 - ・ 9 m×9 mを基本とし、12 室を確保する。
 - ・ 南向きの部屋とし、自然採光、自然通風に配慮する。
 - ・ 授業に集中できる環境とするため、シンプルな壁とする。
 - ・ 教室周りの収納スペースや展示掲示スペースを充実させる。
 - ・ ホワイトボードはスライドできるものとし、中央には大型提示装置を設置する（はめ込む）。
 - ・ 建具はオープンスペースを作り出せる仕様とする。
 - ・ 2 教室あたり 1 か所は教材室を設けるのが望ましい。

- ② 特別支援教室 … 81 m²×5 室+40.5 m²×2 室
 - ・ 採光、通風に加え、吸音、遮音にも配慮した造りとする。
 - ・ 将来を鑑み 7 部屋を確保する。
 - ・ さまざまな学習形態を考慮し、上記普通教室と同規模の教室とその半分の規模の教室を設け、収納スペースや目隠しカーテン等も設ける。
 - ・ 保健室や職員室と連携がとりやすい配置とし、2 室は 1 階に配置する。
 - ・ 教室内に手洗いを設置する。

- ③ 通級指導教室 … 81 m²×2 室
 - ・ 普通教室と同規模にし、2 室確保する。
 - ・ 採光、通風に加え、吸音、遮音にも配慮した造りとする。
 - ・ 町外から通う児童生徒を考慮し、1 階に配置する。

- ④ 理科室 … 162 m²×2 室
 - ・ 騒音や振動等が他の教室に影響を及ぼさない構造とする。
 - ・ 準備室を設ける。

- ・ 収納スペースや展示掲示スペースを充実させる。
 - ・ 将来的に2室（小中学校別）とする。
- ⑤ 音楽室 … 162 m²×1室
- ・ 吸音性能を有する空間とする。
 - ・ 準備室を設ける。
 - ・ 体育館や屋外への楽器の移動経路を考慮する。
 - ・ 声楽等の授業に対応するため鏡を設ける。
 - ・ 将来的にも小中学校共用の教室とする。
- ⑥ 家庭科室 … 162 m²×2室
- ・ 調理と被服の授業を行うためそれぞれ1室ずつ設ける。
 - ・ 準備室を設ける。
 - ・ 電子レンジやミシン等を使えるよう、適切に電源設備を設ける。
 - ・ 収納スペースや展示掲示スペースを充実させる。
 - ・ 災害時の炊き出しが行える等、避難所施設としての機能を考慮する。
- ⑦ 外国語活動室 … 81 m²×2室
- ・ 体を動かしての学習や、床に座っての活動が行える空間とする。
 - ・ 会話や音声を用いた学習を鑑み、吸音に配慮する。
 - ・ 収納スペースや展示掲示スペースを充実させる。
- ⑧ 図工室（美術室、技術室） … 162 m²×2室
- ・ 準備室を設ける。
 - ・ 将来的に図工室と、美術室または技術室を兼用とする。
- ⑨ 多目的室 … 300 m²×2室
- ・ 2教室分以上の広い空間を確保する。
 - ・ 展示掲示スペースを充実させ、大型提示装置を設置する。
 - ・ 少人数指導教室として活用できるよう間仕切り建具を設ける。
 - ・ 吸音性能を有する空間となることが望ましい。
 - ・ 将来的に2室（小中学校別）とする。

- ⑩ 図書室 … 243 m² × 1 室
- ・ 校舎1階中央に配置し、気軽に入りやすい空間とする。
 - ・ 本棚や椅子、展示スペースを工夫し、充実させる。
 - ・ 貸出カウンターは全体が見渡せる位置に設ける。
 - ・ 2教室分以上の広い空間を確保する。
 - ・ 地域開放可能なゾーニングとする。
- ⑪ 教育相談室 … 20 m² × 3 室
- ・ 3室程度確保する。
- ⑫ 校長室 … 55 m² × 2 室
- ・ 校庭が見渡せて、来客用玄関に近い1階に配置する。
 - ・ 職員室、共同事務室と連携を図りやすい配置に考慮する。
 - ・ 室内に来客対応ができる応接セットを設ける。
 - ・ 将来的に2室（小中学校別）とする。
- ⑬ 職員室、休憩ラウンジ、職員更衣室、資料室 … 585 m²
- ・ 校庭が見渡せ、児童（生徒）を見守れる環境とする。
 - ・ 個人情報保護等の観点から資料収納スペースを充実させる。
 - ・ 印刷コーナーと作業台を設け、授業の準備が行いやすい空間とする。
 - ・ 給湯スペースと打合せスペースがある休憩ラウンジを設け、教職員がリラックスしてコミュニケーションを図れる空間とする。
 - ・ 職員室と職員更衣室、資料室の動線を考慮する。
 - ・ 職員更衣室は教職員数に応じた十分な広さを確保する。
 - ・ 将来的に小中学校共有化の空間とする。
- ⑭ 共同事務室 … 40.5 m² × 1 室
- ・ 来客等対応のため、来客用玄関に隣接して配置し、窓口を設ける。
 - ・ 給湯スペースを設け、校長室や会議室、職員室との連携を考慮する。
- ⑮ 保健室 … 135 m² × 1 室
- ・ 1階の校庭に面した位置とし、救急車の寄り付きを考慮する。

- ・ 校庭から直接児童（生徒）が入れる構造とする。
- ・ 教育相談室と連携できる配置を考慮する。
- ・ 収納スペースや展示掲示スペースを充実させる。
- ・ 多目的トイレとシャワー室を備える。

⑯ 配膳室 … 81 m²×1室

- ・ 児童（生徒）が給食を円滑に運べる動線を考慮する。
- ・ 給食車の寄り付きを考慮するとともに、将来的に調理センターが隣接して建設される可能性に配慮した位置とする。

⑰ 会議室 … 81 m²×2室

- ・ 普通教室と同規模の空間を確保し、最低2室配置する。
- ・ 2室を1室として使用できるよう間仕切り建具を設ける。
- ・ 教職員全員での会議が行える設備を備える。

⑱ 放送室 … 9 m²×1室

- ・ 職員室そばに配置する。

⑲ コミュニティルーム … 81 m²×1室

- ・ 学校運営協議会や学校支援ボランティアの活動拠点として、地域開放ゾーンに配置する。
- ・ 地域やPTAの会議ができる備えを行う。
- ・ 収納スペースや展示掲示スペースを充実させる。

⑳ トイレ、手洗い場 … 54 m²×11室+(42 m²+12 m²+36 m²)×1室

- ・ 全て洋式トイレとし、児童生徒の人数を考慮した適切な数を設ける。
- ・ 手洗い場も含めて明るく快適な空間とし、個室の戸を工夫する等省スペースに配慮する。
- ・ 校舎各階に児童生徒用トイレを設けるとともに、1・2階には職員来客（大人）用トイレを設け、1階に多目的トイレを設ける。
- ・ 床や手洗い場のシンク等、維持管理を考慮した仕様とする。
- ・ 1階には校庭から直接入れる児童生徒用トイレも適切な数を設ける。

- ⑳ 体育館 … 1,161.16 m² (現トレーニングセンター)
- ・ 学校校舎からの円滑な移動がしやすい半屋外通路により接続された環境が望ましい。
 - ・ 学校行事を想定したステージの検討を行う。
 - ・ 児童生徒の身体への負担軽減と維持管理費の削減が可能な材を使用した床とする。
 - ・ 地域に開放する施設として、洋式トイレと男女更衣室、下足入れを設ける。
 - ・ 将来的にも小中学校別とする。
- ㉑ プール
- ・ 県内のプール整備状況を鑑み、9コースかつ50mの公式大会公認プールを目標として検討し、最低でも7コースかつ25mとする。
 - ・ 上記と併せ、大会誘致を鑑みた観覧席の設置についても検討する。
 - ・ 外部からの視線に配慮するとともに、気候に左右されない学習を可能とするため、屋内の温水プールを検討する。
 - ・ 災害時の雑用水として活用できるバルブを設ける。
 - ・ 小中学校共用とし、水深等の仕様は小学校を基準とする。
- ㉒ 校庭 … 1,750 m² (ミニグラウンド) + 8,860 m² (小学校グラウンド)
- ・ 小学校校舎を配置する敷地内に、児童が安心して遊べるグラウンドを設ける。
 - ・ 校庭の脇には鉄棒等の遊具および、花を植えたり農作業ができたりする花壇や学級菜園を設ける。
 - ・ 体育や各種大会練習でトラックとして利用する場合は、現在の小学校グラウンドを使用する。
- ㉓ その他
- ・ 校舎内全ての教室にエアコンを設置して集中管理を行うとともに、体育館についても設置することが望ましい。
 - ・ 校舎内の廊下はゆとりを持った幅を確保し、展示掲示スペースを充実させる。

- ・ 敷地内全ての場所がインターネット接続可能環境となるよう無線LANを整備する。
- ・ 玄関は児童（生徒）用と職員用を分け、職員用は来客用を兼ねる。
- ・ 児童（生徒）用玄関の各児童（生徒）用下足入れスペースは、十分な大きさを確保する。
- ・ 駐車場は来客用として校舎東側に 30 台程度、道路を隔てた校舎南側に教職員用として 70 台以上のスペースを確保する。
- ・ 児童生徒用更衣室を確保する。
- ・ 中学校生徒会室を確保する。
- ・ 災害時に対応できるよう非常用電源を確保する。

2 新たな小学校施設等の望ましい設計デザインについて

【具体的な内容案】

ここでは、新たな小学校施設等の設計デザインについて、望ましい考え方を次のとおり示す。

- ① 積極的な学びを創造する居心地の良い学校づくり
 - ・ 内装木質化で温もりと落ち着きのある校舎
 - ・ 採光を十分確保した自然光の明るさがもたらされる校舎
 - ・ 授業の際に集中できる吸音、遮音
 - ・ 教育 I C T環境の充実（敷地内無線 L A N環境等）
 - ・ 図書室の充実
 - ・ 教室面積と廊下幅の広い校舎
 - ・ 教職員用更衣室と休憩ラウンジの確保
 - ・ 木製室名表示板の設置

- ② 全ての利用者が安心して安全な学校づくり
 - ・ エレベーターの設置
 - ・ 多目的トイレの設置
 - ・ バリアフリーを取り入れた校舎（スロープの設置等）
 - ・ エアコンの全室完備
 - ・ 児童（生徒）数に応じたトイレ設置および洋式化
 - ・ 教職員の目の行き届く校舎
 - ・ 雨天時を考慮した玄関への半屋外空間設置
 - ・ 施錠可能な児童生徒玄関
 - ・ 監視カメラ、インターフォン、内線電話等警備システムの設置
 - ・ ユニバーサルデザインの導入
 - ・ 災害時対応として非常用電源の確保

- ③ 効率の良い学校づくり
 - ・ 各教室等における十分な収納スペースの確保
 - ・ 年間を通じてより良い学習環境（校舎内の温度、採光、通風、換気等）

を確保できる環境調和システムの導入等エコスクールの検討

- ・ 校舎等の維持管理を考慮した設計
- ・ メンテナンス性を鑑みた校舎屋根
- ・ 将来を見据えた小中学校共用スペースの整理

④ 地域に開かれた学校づくり

- ・ コミュニティルームの設置
- ・ 地域開放ゾーンの設定
- ・ 運動施設の充実
- ・ 地域木材を使用したモニュメント等の設置